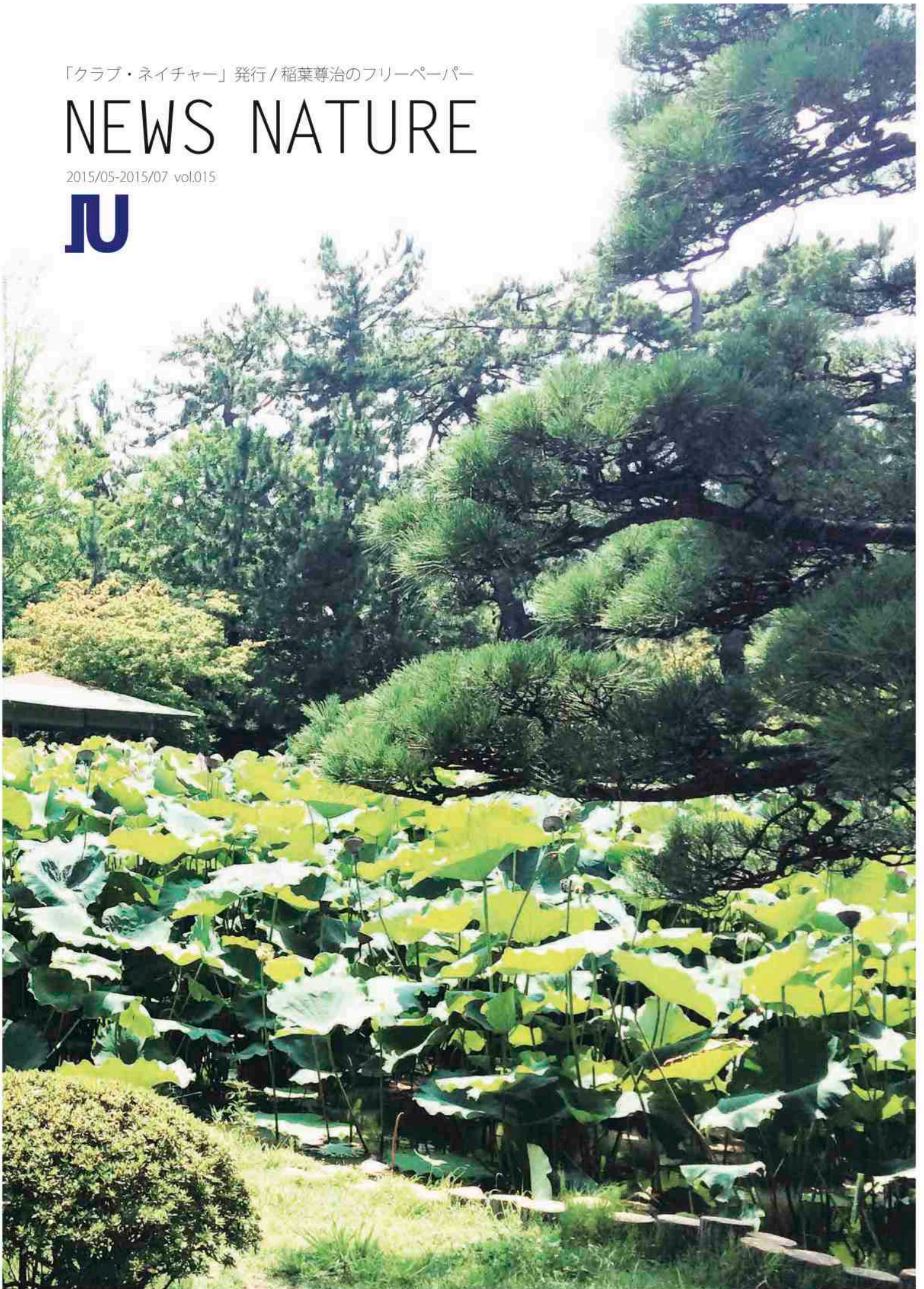


「クラブ・ネイチャー」発行/稲葉尊治のフリーペーパー

NEWS NATURE

2015/05-2015/07 vol.015

JU



あなたを観て 言葉を書きました①

稲葉尊治物語

稲葉尊治
1980年亀有生まれ
A型
詩人/作家/プロデューサー
千葉県野田市/株式会社マップ

高校在学中、美容院でアルバイトをしていました。毎日毎日、アルバイト。当然のごとく、美容師になるものだと思っていました。当時は、カリスマ美容師だとか、そういうものが流行していた時代です。卒業後に専門学校に行く予定でしたが、色々な都合が重なって、結局、違うお店に就職をしました。1年くらいのアルバイトの期間中では、カット以外はほぼ行っていません。ある程度の自信はあったものの、当然のごとく、専門学校も行ってないし、素人の新人の気持ちで、ゼロからがんばるべ!というモチベーションで就職をしました。が、しかし、3日ですべて終わりました……。

今思うと、お店に入った当初から違和感があったように思います。何か合わず、何か違ったのです。と言ったらいつちよまえのようですが、要するにがんばる、続けるという意識が足りない若造だったたけなのだと思えます。「やりたいことをやる」だとか、「楽しい事をやる」だとか、「好きな事をやる」だとか、「自由でいよう」だとか、そういうメッセージが流行った時代でもあったようで、いつのまにか、そういう精神が身に付いてしまっていたのかもしれない。

やめてみたはいいものの、無職ですね。なんとか世話になれる家庭の状況でもなかったで、何かしら動かなくては……という気持ちはあったものなぞか、「どこかの会社に就職しようぜ!」という計画、常識、気持ちがありませんでした……。

高校3年生になると、自ずと、「進路」というものに向き合う時期がやってきます。簡単にいうと、「就職する」のか「進学する」のかです。当時の僕は、美容院でアルバイトをしていたものの、「内装職人になりたい!」と、思っていました。原宿や渋谷のかっこいいお店を作っている内装職人のチームがあり、それに憧れていたのです。その気持ちをそのまま先生にお伝えしました。

その後の気持ちは、今でも覚えています。

先生が持ってきてくれた就職先のリストは、近所の会社でした。クロス屋さんとかのリスト。それらを見た時に、一言、「あ、いいですよ先生!俺、自分で探しますから!」とお伝えしました。内心は、がっかりした気持ちと、でも、しょうがないよなという気持ちが混ざっていました。今になって、心から思います。生徒や子供達の未来を提示するということは、本当に本当に大切な仕事で、そのためには様々な能力が必要だということです。これらのことは、教員の皆さんとお話する機会がある時にお話しさせて頂いています。

さて、3日ですべて無職になった稲葉尊治。昔の気持ちを思い出して、内装職人を目指してどこぞのいけるチームに弟子入りしようか……とか、甘い甘いことを考えていた所、ある張り紙を見つけました。「病院の料理を作るアルバイト募集」です。何を思ったか、病院の調理室で働きました。

が、しかし、これもまた、続きません。続くわけがありません。理由は色々あるのだけれど、これまた要するに、だらしがない、若造なんです。要するに、だらしがない、若造。

「あ、どうすっつかなく」と、考えました。若造なりに、考えました。

「やっぱ、なんか、やる気になることじゃないと、俺はやれないんじゃないか。」「そういえば、今までの人生も、途中で嫌になったら全部やめちゃってたべな。」「でも、やばいんじゃないの。それ。超やばくない?」と、考えました。どうしようもない、ただのバカの若造です。そこからでてくる答えもまたバカです。

「おし。俺、スノボでメシ食ってくべ。」

中学生の頃からスノボをやっていました。冬になると、必ず行ってました。学校休んでまで行ってました。インストラクターさんが滑っているのを見て盗んで盗んで試して試していました。朝も昼も夜もやりました。転びまくりました。打ち身とかねんどとか打撲とか、次の日の朝に痛みで起き上がる事ができないとか、初めて経験しました。本も読みまくりました。そして、何より、スノボボードでの経験で忘れられない場面がありました。

学生で、超子供の稲葉尊治にも、それなりに、悩み苦しみがありました。もう、なんで、俺は普通に暮らして普通に生きれないんだ?と、いっちょよまに問いが湧いていました。どうしようもなくどうしようもなく、逃げるようにスノボにいきました。リフトに乗って、山の上。リフト乗り場も、車も、道も、ぼつぼつ見える家、集落も、ほんとにちっぽけにみえました。小さい小さいおもちゃみたいに。

ちっともロマンチックな自分ではなかったし、どちらかと言ったら、そういうのをバカにしていた自分でした。なのに、はじめて、生まれてはじめて、そういうことに心が動きました。ありきたりなセリフだけれど、

「俺は、なんてちっぽけなこと、悩んでいたんだ。」と、心から、思いました。前進の重み苦しみが抜け出したようでした。

そういう場面のこともあって、思い立ったわけです。スノボで食ってくべと、当時の季節は、梅雨時期。冬まで時間がある。冬まで、何やって食ってこうか。ちよつと時間がある。

「そうだ。本を出して、印税で食ってこう!それなら、スノボもやりやすい!」

そこからアルバイトをすればいいのに、何を思ったか、本を出して食っていいこうと思ったわけです。もう、超バカ。なめ過ぎ。人生も、全ての作家さんのことも。若さとかそういうの超えて、ただのバカなんです。つまり、今の僕があるのは、かっこいい運命的なものとかでなくて、漫画のような「天啓をうけました」とかでもなくて、「子供の頃の努力が実って」とかでもないんです。ほんと、申し訳ないと思ってます……。だからがんばれるのかも……。と、今、思いました。

ということ、決めたら、早い。早速、あれやこれやと書いてみるわけです。まとめてみるわけです。出版社に電話してみるわけです。行ってみるわけです。社長から言われました。

「とりあえず、原宿でやってみなよ。」

行ってみました。やってみました。

blogで、稲葉尊治

稲葉尊治公式 blog
「GUIDE BOOK」
イナバタカハルの思考の教科書



会場では、5分、10分。だと、やっぱり、時間は足りない。
「もっと、聞きたい。知りたい。学びたい。」という声に応えるため、
「日々の疑問や不思議なこと、暮らしや仕事での、思考のプロセスで滞ってしまっていること、新しい考え方、捉え方を求めている時」に、お答えするという位置づけに変えました。
また、色々な人たちが日々抱えている「問いや疑問」が、僕にとって、新しい言葉を取り出すモチベーションの源泉になるかも！と思っています。
要するに、何かを与えられないと、どうにもこうにも、力がでない！という、
ダサいところからが始まりなのですが・・・。
ので、僕が何かをかけるのにご協力頂けたらとてもとてもありがたいです・・・。
稲葉尊治

<http://ameblo.jp/inabatakahalu>

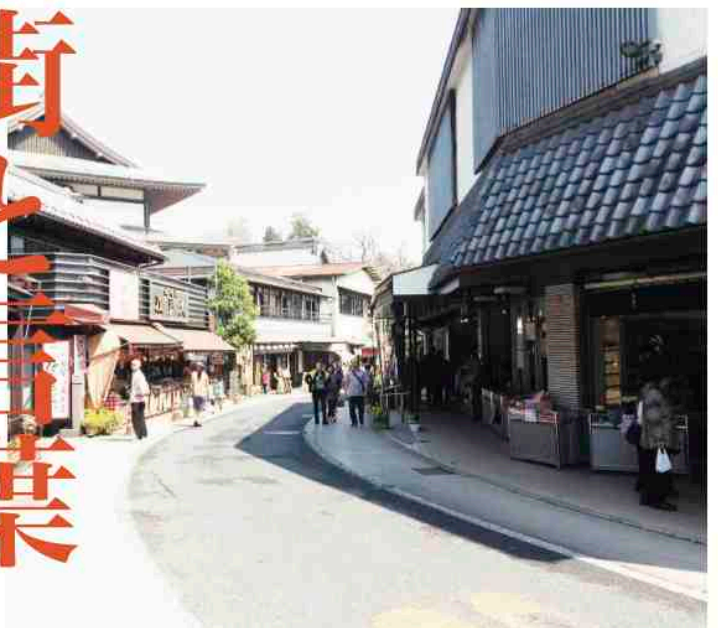
「ブログで、稲葉尊治。」

- 問いや疑問を、下記メールまでお送り下さい
- 頂いたメールへのお返事は致しません。
- 全ての人の問いにお答えはできないと思います。
- 頂いたメールアドレスは直ちに破棄させていただきます。
- お名前などの記載がなくて結構です。
- 世代年代問わず、日々のことでもビジネスのことでもお待ちしておりますが、「どこの誰々さんに恋しててえ〜、でも誰々さんにはカノジョがいてえ〜」みたいなのは、完璧に稲葉尊治のモチベーションが上がりません。ご了承下さい。
～送り先 ブログで稲葉尊治係～
i@minoua.com
※件名に、ブログで稲葉尊治 と記載してください。

千葉県成田市に、成田山新勝寺があります。とても有名なので、千葉県にお住まいではない方もご存知の方がいたり、また、行かれた事がある方もいるかもしれません。新勝寺そのもののたまたまずまいも厳かで立派であります。新勝寺へとつながる参道もとても美しく魅力のあるものです。お団子やうなぎを食べるもよし、坂道を往復しながらただただ町並みの空気にふれるもまた楽しい時間をお過ごしと思えます。

僕は、成田を個人的に好きだと言うこともあり、こうした参道が好きだと言うこともあり、特別な存在で、意味付けをしています。ふしぎなふしぎな土地の神様の力があって・・・だとか、そういうことではなく、きっと、僕の中の先祖や遺伝子の記憶の中の縁があって、だから、この土地にくると、これまでまともなことがまともなことがあったり、これまで分からなかったことが突然ふと、分かるようになったりするのだらうなと思っています。たまに、ふと、新しい考え方が湧いてきたりもします。休日に、昼間からお蕎麦とビールとお酒を頂けるところにいることがものすごく幸せだと思うようになってから、もう数年。疲れているのかも・・・と思いつながら、こうした、自分にとって意味のある所での時間を大切に、また、がんばろうと思えます。

街と言葉



街と言葉
vol.1 千葉県成田市 新勝寺と参道

稲葉尊治の5月/6月/7月のスケジュール

「あなたを観て言葉を書きます」

5月22日～30日 アリオ市原 1階 サンシャインコート側入り口

6月6日～7日 リバーサイド千秋 1階 リバーサイドコート

6月19日～28日 イオンモール下田 1階 スワンコート

7月1日～5日 イオンモール大曲 1階 花火の広場

★その他詳細は、稲葉尊治サイトか、公式フェイスブックページをご覧ください。



大変大変遅くなりました。いつの間にか、5月も末になってしまいました。3月に発行する予定だったのですが、スケジュールの都合でここまで延びてしまいました・・・もう、2015年も残り半年にむかっていっています。はやいですね・・・本当に・・・。何度何度、毎年毎年と同じことを言っているんだと思っっていますが、「本当に、時間が経つのは、はやい」です。

そんな中でのこの数ヶ月、あちこちと会場にも行っていました。東京、埼玉、宮崎、新潟・・・と動き回り、また、お話しをしたり、選挙もあつたりと、慌ただしくしていました。色々な結果があり、色々なことを思ったりもしたのですが、とても強く認識したのは、「時差」があるということでした。

自分が思ったり、考えたり、分かったり、気づいたりしたことが、実際に具現化されたり、味わうことができたり、本当に分かったりするのは、とてもとても「時差」があるようです。ですので、皆さんも、「自分には、力がないのではないか」などと、悲観すること無く、時間をしっかりと捉えて、今、進んでいること、停滞していることをよく感じて、1日1日を過ごしましょう。それぞれの早さで、しっかりと進み、生きているのだと思います。さて、新しいニュースネイチャーです。こちらもまた、ゆっくりと、成長させてまいります。

これからまた、じんわりと、よろしくお願い致します。 稲葉尊治

ニュースネイチャーは、稲葉尊治の会「クラブネイチャー」会員に、無料で送付しております。
購読希望の方は、上記担当までメールにてご連絡下さいませ。